

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	87%	13%	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休みなど利用者が多い時は少し狭く感じることもある。 ・一部屋であるため、隔離が必要な利用者のスペースを作ることが困難。机やパーテーションで区切って対応している。
	2	職員の配置数は適切であるか	47%	53%	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師の人数が不足しており、1人でも休むと足りない状況。あともう1人1日勤務可能な看護師を配置すべき。 ・保育士、看護師共に1人入ってくれたらと思う。利用者に対し、職員がギリギリの時もある。 ・手厚く配置できている。 ・利用人数によっては足りないと感じる場面がある。 ・希望する休みがとれない時がある。他部署からの助力が必要な時もある。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	87%	13%	<ul style="list-style-type: none"> ・入口が手動で重く開けにくい。 ・酸素濃縮器は2台あり設備は良い。寝ている子に照明が眩しくないような工夫や、動線が重なりやすいため空間を広く使う工夫ができれば良い。 ・バリアフリーにはなっているが一部屋なため情報が漏洩しやすい。配慮や工夫が必要。 ・段差はなくバギーも通りやすい。柱などの障害物がないため、全体が見えやすい。 ・入浴の時のシャワーのお湯が急に冷たくなる時があるため、改善すべき。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・清潔は保っているが手洗い等の衛生面にも気を付けたい。 ・少しずつ備品などが増えてきており、子供の成長に合わせた対応ができるようになっていく。 ・清潔な空間にするよう清掃や消毒などは心がけている。利用人数が多い時は物やバギーが多くなり活動に合わせた空間にしにくくなっている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	60%	40%	<ul style="list-style-type: none"> ・最近話し合いの回数が減った気がする。 ・一部の職員は振り返りができていない。 ・意見は言いやすい。 ・アセスメントや目標の振り返りが行えていない。 ・スタッフが集まり目標を定め、振り返りを実施している。 ・PDCAサイクルは活用できていないため業務改善のために活用すべき。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の声を聴く努力はしている。 ・保護者にもアンケートをとっているため保護者の意見に配慮しながら日々業務改善につなげている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	87%	13%	<ul style="list-style-type: none"> ・会報やホームページを確認したことがなく、分からない。 ・ホームページで公開している。 ・会報やSlackなどでも周知したほうが良い。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	60%	40%	<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価が行われているか分からないが、第三者の評価も必要だと思う。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	60%	40%	<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ機会がないと聞いた。 ・グループ内の研修は参加している。外部の研修にも少し参加してもよい。 ・職員の技術向上のための研修を定期的に自分たちで開催するべき。 ・児童発達支援のみで研修(職員の勉強会など)を行っていないため、今後の課題。他事業所との交流は気付きの機会になっている。 ・現在、研修の予定などは特にない。 ・子供の個性に応じた摂食方法など、スタッフ間での研修が増えればと思う。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	93%	7%	<ul style="list-style-type: none"> ・分析が不十分。 ・多職種で話し合い計画を作成できている。 ・リハビリスタッフとも連携をとり、身体的発達やコミュニケーション能力も含め子供に合った支援計画を立てている。 ・定期的にスタッフで集まり支援計画について話し合い、作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	87%	13%	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し内容が濃いものだと良い。 ・アセスメントツールなどは上手く活用できていない。 ・Slackを使用して子供たちの状況を知ることができる。 ・適応行動の状況に対してアセスメントツールが作成されていないため、作成から始める必要があると思う。

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	93%	7%	<ul style="list-style-type: none"> ・役割などははっきりでき、支援内容も設定できている。 ・家族の意向も聞き取りながら支援内容を設定できている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・介入がバラバラである。 ・振り返りをしながら、アセスメントに沿った支援が行えるよう努力している。 ・評価はできているが、計画通りの内容は行えていない。 ・活動内容によってはひとりひとりに沿った支援ができない時もある。 ・計画に沿って活動を行い観察している。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の活動プログラムの立案をしたほうが良い。 ・朝の月にスタッフ間で話し合っ決めていく。 ・固定した職員で行っている。 ・時々全体の話し合いで話すこともあるが、保育士任せになっている。月に1回など定期的に話し合いの場を設けるべき。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	87%	13%	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に合った活動が考えられている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	93%	7%	<ul style="list-style-type: none"> ・摂食などひとりひとりの現状に応じた活動と、集団と一緒に活動できるような支援計画が作成されている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	67%	33%	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼にて打ち合わせしている。送迎で乗車するスタッフの確認など行っている。 ・朝の送迎がないスタッフで打ち合わせや準備ができると良い。 ・確認が不十分な時がある。 ・朝のミーティングはあるが、役割分担はしていない。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	73%	27%	<ul style="list-style-type: none"> ・一部の職員は振り返りが不十分。 ・終礼ミーティングは行っていない。気付いた点などは共有している。 ・終礼を行っても良い。 ・打ち合わせやSlackにて内容を共有して次に活かせる方法を検討している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	87%	13%	<ul style="list-style-type: none"> ・記録はしているが改善にうまく繋がっていないと思う。 ・日々の子供の活動について記録している。スタッフ全員が記録を見て振り返れば良いと思う。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	93%	7%	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に目標の設定などできている。 ・定期的にモニタリングを行いスタッフ間で話し合うことができている。 ・関連職種と共にできている。
	関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	93%	7%
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者が担当している子供の状況を時々観察しに来たりして、連携をとっている。
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	87%	13%	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の関連機関と連携して支援できていないため、地域との繋がりをを持った障害福祉等をもっと学習できればと思う。
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	87%	13%	<ul style="list-style-type: none"> ・直接のやり取りではなく、家族を通してのやり取りのみ。 ・主治医等と直接連絡をとれるように、ひとりひとりの情報がある紙に病院名と連絡先が書いてある。
25		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	93%	7%	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合っって情報共有できている。
26		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	93%	7%	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有できている。
27		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	87%	13%	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所との交流はあまりない。助言や研修にも参加できていない。 ・他事業所と合同の運動会を行い、交流ができていると思う。 ・他の児童発達支援センターや専門機関と連絡、連携はとっている。研修なども参加できる機会があれば更に良いと思う。 ・他事業所と連携はできているが、研修を行う機会はない。(看護師)
28		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	33%	67%	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント(ハロウィンなど)の際は行っている。 ・交流する機会がない。活動に入れても良いと思う。 ・イベントや散歩時に挨拶はするが、特に交流はない。 ・定期的にはない。

関係機関や保護者との連携	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	53%	47%	・イベントに参加している。 ・いつ行われているかも把握できておらず、参加できていない。学びとして参加できればと思う。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	93%	7%	・一部の職員は不十分。 ・保護者に状況を伝えているが、共通理解までできているかは不明。 ・保護者との連携はできており、日頃から発達状況なども共有している。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	40%	60%	・プログラムとしては行っていないが、日々の様子の共有から、対応できることの幅などは伝えられていると思う。 ・今後保護者も交えた活動を行っても良いと思う。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	・できている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	0%	・書面で説明してサインをもらっている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	87%	13%	・定期的に場を設けることはしていない。送迎時に相談できる声かけや、相談の場を設けても良いと思う。 ・送迎時にしている。 ・相談には対応しているが必要な助言と支援が十分にできているか分からないため、専門のスタッフやチームで相談して対応するようにしていきたい。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	40%	60%	・職員兼利用者家族は一部行えている。 ・現在はやっていないが、5月に予定はある。 ・広いスペースで行えたらと思う。活動の一部として子供も交えればと思う。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	・Slack等で確認し、周りとの相談の上で適切に対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	87%	13%	・書面やSlackで発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%	0%	・個人の情報で必要なくなったものはシュレッター、情報は個別ファイルで管理している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	93%	7%	・保護者と話をする際、その子の反応や表情などをよく聞きよく見るようにしている。保護者には活動の時の反応など細かな変化も話して子や保護者を理解するよう努めている。 ・受容の気持ちをもって常に話を聴く姿勢で対応している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	53%	47%	・他事業所と定期的にイベントを行えている。 ・地域住民を招待する行事はしていない。 ・地域住民と交流する機会はまだないが、グループ内に地域住民と交流する場があるため行事等もできたら良いと思う。 ・幅広い人々と関わる機会を持てればと思う。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	53%	47%
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	93%	7%	・もう少し頻度を増やしてもよい。 ・定期的に避難訓練を行っている。 ・地震の訓練は簡単に行ったことがあるが、火災等はないため行うべきである。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%	0%	・見える化しており分かりやすい。(処置板や内服を貼ってあるなど) ・状況を確認するようにしているが把握できていない所もあるため、表にまとめるなど工夫したい。 ・個別の情報の紙面を通して確認している。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	87%	13%	・それぞれのアレルギー等把握できていないため良いツールを使用して理解していきたい。 ・個々にアレルギーの確認はできているが医師の指示書はないため、個別に指示書を頂く必要がある。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	・グループを通じて行っている。 ・速やかに報告してスタッフ内で事例検討し対策に努めている。 ・ヒヤリハット事例をまとめたファイルやSlackにて共有できている。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	87%	13%	・たまにグレーな部分がある。(言葉使いなど) ・現在は参加していないため、今後参加していきたい。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	87%	13%	・やむを得ず身体拘束を行うという経験がないため分からないが、必要がある場合は具体的な根拠を明らかにし安全に支援できるように支援計画に入れていくべきだと思う。